

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月28日

上場取引所 東大

上場会社名 JSR株式会社
コード番号 4185 URL <http://www.jsr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小柴 満信
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 小島 昌尚

TEL 03-6218-3517

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	275,348	6.2	24,939	△14.2	30,489	△4.8	21,172	11.8
24年3月期第3四半期	259,339	1.6	29,062	△2.9	32,012	△0.1	18,941	△8.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 24,231百万円 (57.8%) 24年3月期第3四半期 15,356百万円 (△13.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	87.91	87.73
24年3月期第3四半期	78.52	78.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	459,273	298,562	63.7
24年3月期	430,692	282,357	65.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 292,710百万円 24年3月期 280,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
25年3月期	—	17.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	378,000	8.0	36,000	0.1	40,500	△2.6	28,000	6.0	116.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) JSR BST Elastomer Co., Ltd. 、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は添付資料 P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料 P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、株式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料 P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	255,885,166 株	24年3月期	255,885,166 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	17,563,721 株	24年3月期	14,645,692 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	240,839,533 株	24年3月期3Q	241,240,023 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成25年1月28日(月)に、決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から同年12月31日）の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ユーロ圏における景気後退の長期化、中国における成長率低下の継続などにより、総じて成長ペースの鈍化とともに先行き不透明な状況が続きました。

日本経済は、震災復興による下支えはあるものの、エコカー補助金効果の終息および海外の景気減速をうけた輸出不振を背景に、景気回復は期の後半から弱い動きとなっています。

当社グループの主要な需要業界におきましては、自動車の国内生産は、震災影響からの回復により期の前半は好調に推移しましたが、エコカー補助金の終了した後半からは減速しています。自動車タイヤの国内生産は、欧州向け輸出の不振、国内自動車減産の動きにより、前年同期を下回る水準で推移しました。半導体市場は、スマートフォンや多機能携帯端末向けの需要は堅調に推移したものの、パソコン向けの需要は低迷を続けています。フラットパネル・ディスプレイの生産は、主要パネルメーカー全般に回復傾向が見られましたが、国内メーカーの稼働率は依然低い水準となっています。

原料面では、ナフサの価格は世界景気の減速に伴い第2四半期に下落したものの、第3四半期は再び高い水準に上昇し、収益圧迫要因となりました。

このような状況のもと、当社グループは、石油化学系事業では、技術的に優位性を持つ製品の能力増強・拡販に注力するとともに、主要原材料価格の上昇に対応した価格改定に努めました。情報電子材料を中心とした多角化事業では、グローバルマーケットでの最先端材料の拡販と製造コストの低減に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,753億48百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益249億39百万円（同14.2%減）、経常利益304億89百万円（同4.8%減）、四半期純利益211億72百万円（同11.8%増）となりました。

（単位：百万円）

区分	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高						
エラストマー事業	131,164	50.6%	142,591	51.8%	11,427	8.7%
合成樹脂事業	37,728	14.5%	39,032	14.2%	1,303	3.5%
多角化事業	90,446	34.9%	93,724	34.0%	3,278	3.6%
合計	259,339	100.0%	275,348	100.0%	16,009	6.2%
国内売上高	145,665	56.2%	146,510	53.2%	844	0.6%
海外売上高	113,673	43.8%	128,837	46.8%	15,164	13.3%
区分	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	比率
営業利益	29,062	11.2%	24,939	9.1%	△4,122	△14.2%
経常利益	32,012	12.3%	30,489	11.1%	△1,523	△4.8%
四半期純利益	18,941	7.3%	21,172	7.7%	2,231	11.8%

(部門別の概況)

①エラストマー事業部門

合成ゴムの販売につきましては、震災復興による生産・販売の回復および前年度に生産能力を増強した溶液重合SBRの拡販により、売上高は前年同期を上回りましたが、石化製品の市況下落を受け、営業利益は前年同期を下回りました。エマルジョン主力製品の紙加工用ラテックスにつきましては、製紙メーカーの震災復興はあるものの回復は弱く、売上高は前年同期をやや下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のエラストマー事業部門の売上高は前年同期比8.7%増の1,425億91百万円、営業利益は前年同期比21.9%減の116億90百万円となりました。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	131,164	142,591	11,427	8.7%
営業利益	14,964	11,690	△3,273	△21.9%
営業利益率	11.4%	8.2%	△3.2%	—

②合成樹脂事業部門

合成樹脂の販売につきましては、アミューズメント向けで需要が減少したものの、震災復興により自動車用途での販売が回復し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上高は前年同期比3.5%増の390億32百万円、営業利益は前年同期比36.3%増の23億8百万円となりました。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	37,728	39,032	1,303	3.5%
営業利益	1,693	2,308	614	36.3%
営業利益率	4.5%	5.9%	1.4%	—

③多角化事業部門

半導体用材料の販売につきましては、スマートフォンや多機能携帯端末向けの需要は堅調に推移したもののパソコン用の需要は低迷し、売上高は前年同期並みとなりました。

フラットパネル・ディスプレイ材料の販売につきましては、パネルメーカーの生産は回復傾向にありますが、国内メーカーの稼働率は依然低水準にあり、売上高は前年同期を下回りました。

精密材料・加工事業につきましては、スマートフォンや多機能携帯端末向けの耐熱透明樹脂「アトーン®」の位相差フィルムが出荷を伸ばし、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の多角化事業部門の売上高は前年同期比3.6%増の937億24百万円、営業利益は前年同期比11.8%減の109億40百万円となりました。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	90,446	93,724	3,278	3.6%
営業利益	12,404	10,940	△1,463	△11.8%
営業利益率	13.7%	11.7%	△2.0%	—

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月29日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、JSR BST Elastomer Co., Ltd. の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,490	39,681
受取手形及び売掛金(純額)	89,193	88,366
有価証券	69,496	70,895
たな卸資産	64,946	74,168
その他	48,296	37,218
流動資産合計	292,423	310,330
固定資産		
有形固定資産	80,504	90,153
無形固定資産	5,166	6,240
投資その他の資産	52,597	52,549
固定資産合計	138,269	148,943
資産合計	430,692	459,273
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,077	93,125
短期借入金	15,183	14,942
その他	31,616	28,578
流動負債合計	129,877	136,645
固定負債		
長期借入金	500	5,273
退職給付引当金	13,966	15,225
環境対策引当金	2,700	2,249
その他	1,289	1,316
固定負債合計	18,457	24,065
負債合計	148,335	160,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,320	23,320
資本剰余金	25,179	25,179
利益剰余金	263,100	276,253
自己株式	△27,321	△31,766
株主資本合計	284,279	292,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,217	4,598
為替換算調整勘定	△7,541	△4,875
その他の包括利益累計額合計	△3,323	△276
新株予約権	655	718
少数株主持分	746	5,133
純資産合計	282,357	298,562
負債純資産合計	430,692	459,273

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	259,339	275,348
売上原価	190,738	207,455
売上総利益	68,600	67,893
販売費及び一般管理費	39,538	42,953
営業利益	29,062	24,939
営業外収益		
持分法による投資利益	3,212	3,769
為替差益	—	1,316
その他	1,134	1,297
営業外収益合計	4,346	6,384
営業外費用		
為替差損	489	—
その他	906	834
営業外費用合計	1,395	834
経常利益	32,012	30,489
特別損失		
災害による損失	815	—
特別損失合計	815	—
税金等調整前四半期純利益	31,197	30,489
法人税等	12,211	9,358
少数株主損益調整前四半期純利益	18,986	21,131
少数株主利益又は少数株主損失(△)	44	△41
四半期純利益	18,941	21,172

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,986	21,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△926	393
為替換算調整勘定	△2,002	2,468
持分法適用会社に対する持分相当額	△699	238
その他の包括利益合計	△3,629	3,099
四半期包括利益	15,356	24,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,327	24,039
少数株主に係る四半期包括利益	29	191

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	エラストマー事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	多角化事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	142,591	39,032	93,724	275,348	—	275,348
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,165	—	—	4,165	△4,165	—
計	146,757	39,032	93,724	279,514	△4,165	275,348
セグメント利益(営業利益)	11,690	2,308	10,940	24,939	—	24,939

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	エラストマー事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	多角化事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	131,164	37,728	90,446	259,339	—	259,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,982	—	—	3,982	△3,982	—
計	135,146	37,728	90,446	263,321	△3,982	259,339
セグメント利益(営業利益)	14,964	1,693	12,404	29,062	—	29,062

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。